

はじめに

1 まずはかゆみを知ろう!
目次へ戻る

2 かゆみを採点しよう!
目次へ戻る

3 かゆみをやっつけよう!
目次へ戻る

このページを印刷する (PDF:214KB)

③ かゆみをやっつけよう

(1) 強いかゆみがある時の外用療法 (ステロイド外用薬やプロトピック軟膏を中心にしましょう)

13. 紫外線照射療法

通常つうじょうの治療ちりょうを行っても皮膚炎ひふえんがよくなりえんしやうずにかゆみかゆみが強い場合には、紫外線照射療法しがいせんしやうしやうほうもしばしば行われます。紫外線しがいせんには、免疫めんえきを抑制よくせいする作用えんしやうや炎症おさを抑える作用ちやくせつめがあります。ソラレンちやくせつめという物質おんよくを含む薬ちやくせつめを直接塗ちやくせつめったり温浴おんよくしたりしてその後ちやくせつめに紫外線Aしやうしやを照射するPUVA療法とくしゆ、紫外線Bしやうしやを照射するUVB療法とくしゆ、紫外線Bしやうしやの中でも特殊とくしゆなものを照射するnarrow band UVB療法とくしゆなどが主しやくに行われています。とても有効ゆうこうですが、治療しよきの初期しよきに入院しんちやうを必要かんさつとしたり、毎日照射しんちやうしなければならなかつたりと、時間じかん的な制約せいやくがあります。また、過度かどの紫外線照射しやうがいによる皮膚障害しんちやうが起きないように慎重かんさつな観察かんさつが必要です。

注意ちゆい:プロトピック軟膏なんこうを使用かんじや中の患者かんじやさんは、紫外線照射療法しんちやうはできません。



照射前



とてもかゆい



照射後



紫外線照射療法後には平たんになり、かゆみもとれる



